

AC Biodeはグリーン革命を可能にする化学技術を開発します。

コア技術と事業概要

AC Biodeは、日本とルクセンブルクを拠点に化学技術で環境課題を解決するディープテック企業です。

コア事業は、独自開発の触媒を用いたプラスチックの再資源化技術「Plastalyst」の展開です。従来のリサイクルでは困難だった混合・汚染プラスチックを、低温・低圧の条件下で効率的に分解し、プラスチック原料や水素・一酸化炭素・酢酸・アルコール等へ分解する「ケミカルリサイクル」を実現します。エネルギー消費を抑えつつ廃棄物を高付加価値な資源に変えることで、海洋プラスチック問題の解決と脱炭素社会の構築に大きく貢献しています。



注目の新技術・新展開

AC Biodeの触媒技術「Plastalyst」は、廃棄物を高付加価値な資源に変える次世代インフラとして注目されています。

- ・ **革新的な分解技術:** 200~300℃の低温・無溶剤で、塩ビを含む混合廃プラや下水汚泥を分解し、水素や化学原料を抽出します。
- ・ **世界初の成果:** PETボトルからメタノールを直接回収する技術を確立。リサイクルの付加価値を劇的に高め「完全循環」を後押しします。
- ・ **グローバルな社会実装:** ダイキョーニシカワやボッシュ、テマセク等との実証や欧州でのCO₂からガラスへのリサイクル事業、2025年大阪・関西万博での展示など、国内外で展開が加速しています。

企業情報



2019年に設立された、日本(京都・東京)とルクセンブルクを拠点とするディープテック企業です。代表の久保直嗣氏のもと、「グリーン革命を可能にする化学技術」をミッションに、独自触媒で廃プラを再資源化する「Plastalyst」を展開。国内外の企業と連携し、化学の力で脱炭素と循環型社会の構築を牽引しています。2025年大阪・関西万博でも次世代インフラとして高い評価を受けた、環境技術の注目スタートアップです。

創立 : 2019年4月1日
資本金 : 1億円
本社 : 京都府京都市左京区岩倉花園町498番地6
生産拠点 : 京都府相楽郡精華町1-7 けいはんなプラザラボ棟203
Web : <https://acbiode.com/>
Tel : 080-6450-5308

取引の多い業界分野



業界の位置づけ



お問い合わせ

京都グリーンケミカル・ネットワーク (KGC-net) 事務局

〒612-8374

京都市伏見区治部町105番地 京都市成長産業創造センター

電話 075-603-6703

E-mail kgc-net@astem.or.jp